

ビジュアルデザイン概論 ルーブリック

No.	到達目標	評価基準				
		90%以上	89~80%	79~70%	69~60%	59%以下
		S (極めて優れている)	A (優れている)	B (良い)	C (普通)	D (1つでもあてはまれば不合格)
1	ビジュアルデザインの概要と、それを学んでいく上で必要な要素を理解し、説明することができる。(C-2)	ビジュアルデザインの概要と、それを学んでいく上で必要な要素を分かりやすく整理すると共に、自らの観点によって得られた疑問点について調査し、自らの考察を加えて、説明することができる	ビジュアルデザインの概要と、それを学んでいく上で必要な要素を分かりやすく整理すると共に、得られた疑問点について自ら調査し、説明することができる	ビジュアルデザインの概要と、それを学んでいく上で必要な要素を分かりやすく整理すると共に、興味を得た内容について追加調査を行い、説明することができる	ビジュアルデザインの概要と、それを学んでいく上で必要な要素を整理し、説明することができる	ビジュアルデザインの概要と、それを学んでいく上で必要な要素を整理し、説明することができない
2	各分野の表現手法と特性について説明することができる。(C-2)	各分野の表現手法と特性について分かりやすく整理すると共に、自らの観点によって得られた疑問点について調査し、自らの考察を加えて、説明することができる	各分野の表現手法と特性について分かりやすく整理すると共に、得られた疑問点について自ら調査し、説明することができる	各分野の表現手法と特性について分かりやすく整理すると共に、興味を得た内容について追加調査を行い、説明することができる	各分野の表現手法と特性について整理し、説明することができる	各分野の表現手法と特性について、整理して説明することができない
3	ビジュアルデザインの専門家として身に付けておくべき倫理観について説明することができる。(B)	ビジュアルデザインの専門家として身に付けておくべき倫理観について十分理解した上で、追加調査を行い、自らの考察を加えて、分かりやすく整理し、説明することができる	ビジュアルデザインの専門家として身に付けておくべき倫理観について理解した上で、追加調査を行い、これらについて分かりやすく整理し、説明することができる	ビジュアルデザインの専門家として身に付けておくべき倫理観について整理した上で、追加的調査を加えて説明することができる	ビジュアルデザインの専門家として身に付けておくべき倫理観について、説明することができる	ビジュアルデザインの専門家として身に付けておくべき倫理観について、説明することができない、若しくは正統な理由無しに指定期限に課題を提出しない